

公益財団法人グリーントラストうつのみや 中期経営計画評価表（平成28年度実績）

平成29年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市旭1丁目1番5号	設立年月	平成3年3月	
市所管課	都市整備部 緑のまちづくり課	代表者	理事長 岡地 和男	
ホームページアドレス	http://www.green-trust.jp/			
基本財産（資本金）	244,914千円	主な出資者	出資額	出資割合
		会員，一般市民	44,914千円	18.3%
市出資額	200,000千円	—	—	—
市出資割合	81.7%	—	—	—
設立目的等	宇都宮市域において、自然環境の保全に取組み、市民が身近にふれあうことのできる良好な緑の環境を有する樹林地等を守り育てるための活動を推進し、もって緑豊かで住みよいまちづくりに寄与する。			
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 市内4か所の緑地・樹林地におけるボランティアを中心とする維持管理活動等に関すること（緑地保全事業（維持管理活動事業）） 鶴田沼緑地・戸祭山緑地の維持管理や生物個体数の調査等に関すること（緑地保全事業（受託事業）） 身近な緑・自然への関心の向上や、グリーントラスト運動への参加促進等に係るPRIに関すること（普及啓発事業） 会員・ボランティアの拡大や、財団の健全な運営・活動基盤の確立等に関すること（団体運営） 			
公益目的事業比率（公益法人のみ）	75.5%			

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
					正規職員等			嘱託・臨時職員等		
常勤	理事	0	0	0	0	0	0	嘱託職員	2	0
	監事	0	0	再雇用職員（フルタイム）	0	0	再雇用職員（短時間）	0	0	
非常勤	理事	11	1	派遣等職員	1	0	臨時職員等（アルバイト等含む）	0	0	
	監事	2	0	市以外	0	0				
計		13	1	計	1	0	計	2	0	
役員		平均年齢（歳）		平均年収（千円）		情報公開制度の有無		0		
職員		平均年齢（歳）		平均年収（千円）		個人情報保護体制の有無		0		

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	備考
資産	252,078	252,171	
負債	363	162	
（うち損失補償等額）	0	0	
純資産	251,714	252,009	
（うち利益剰余金）	248,703	248,306	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	備考
総収入	11,779	11,375	
（うち市補助金等）	6,206	5,921	
（うち市委託料等）	1,998	2,398	
経常損益	157	△ 398	
当期損益	157	△ 398	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
1	緑地保全事業参加者の安定確保	31年度 2,747人	2,617人	2,519人	2,352人			
2	市民参加公開事業の体験者の安定確保	31年度 749人	714人	661人	803人			
3	自然学習支援事業（保全地活用届）の体験者の安定確保	31年度 4,444人	4,233人	3,498人	3,759人			

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
4 (再掲)	緑地保全事業参加者の安定確保	31年度 2,747人	2,617人	2,519人	2,352人			
5 (再掲)	市民参加公開事業の体験者の安定確保	31年度 749人	714人	661人	803人			
6 (再掲)	自然学習支援事業（保全地活用届）の体験者の安定確保	31年度 4,444人	4,233人	3,498人	3,759人			

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
7 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	6,206千円	6,206千円	5,921千円			
8 (共)	市からの委託料（指定管理料）の適正化	継続的な見直し	1,998千円	1,998千円	2,398千円			
9	会員数の拡大	31年度末 1,683人	1,599人	1,605人	1,575人			
10	自主財源の確保・充実	31年度決算 自主財源比率24.3%	23.8%	26.0%	26.2%			

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
11	職員の資質の向上	嘱託職員を含め、継続的な研修受講による能力開発	実施	実施	実施			

5. その他

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
12	ホームページ等における情報提供の充実	新たな媒体による情報の提供	未実施	検討	検討			

Ⅲ 総合評価

<p>団体による 自己評価</p>	<p>【評価】 「市民参加公開事業の体験者」と「自然学習支援事業（保全地活用届）の体験者」は前年度より実績が増加し、特に「市民参加公開事業の体験者」は目標値を上回ることができた。「会員数の拡大」については、高齢等を理由とする退会者がいたにも関わらず、会員数は概ね横ばいで推移しており、これは公開事業をきっかけに参加者が入会するなど、新規会員を獲得できたことによるものであり、財団の公益目的事業の一つである普及啓発事業が効果的に実施され、結果として表れたものと評価できる。また、企業へのPRを行ったことにより法人会員が増加し、企業に対する普及啓発の有効性を認知することができた。</p> <p>「緑地保全事業参加者」は、平成12年から保全していた樹林地の保全契約解除などに伴い前年度より減少したものの、新規ボランティア登録者も生まれており、今後も更なるPRを行うことで増加に努める。</p> <p>今後も引き続き、個人の会員・ボランティアの拡大の実現に向け一層努めていくとともに、環境に関心のある企業へのより積極的なPRと、その他の企業へのグリーントラスト運動の理解促進に努め、会費収入の増加と財団が行う事業への参加者の拡大を図り、財団の事業の更なる充実と健全経営の強化に取り組む。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費収入の増加や民間助成金の活用などによる団体収入の増加 ・ボランティアグループの人員の更なる確保 ・グリーントラスト運動に参画する企業数の増加 ・団体が保全する樹林地、緑地を利用する市民や団体などの増加 ・財団ホームページや会報紙以外の新たな媒体を活用した普及啓発の強化
<p>所管課による 評価</p>	<p>【評価】 「市民参加公開事業の体験者」が目標値を達成したことは評価でき、所管課においてはその数が更に増えていくよう支援していく。「自然学習支援事業（保全地活用届）の体験者」についても実績が前年度を上回っており、新たな学校や地域団体などが財団の保全地を更に活用できるよう普及啓発の支援をする。「会員数の拡大」については、概ね横ばいとなったことから、新規会員の更なる獲得に向け、今後も様々な広報支援を講じていく必要がある。中でも法人会員については、会員数が増加傾向にあるため、より多くの企業がグリーントラスト運動に関心を持ち参画してもらえるような仕組みづくりを団体とともに行っていく。「緑地保全事業参加者」は保全契約地の一つが契約解除した影響もあり若干減少しているが、新規でボランティアに参加する者も出ており、今後の事業の更なる充実に向けてボランティアの募集・周知について引き続き支援をする。</p> <p>財団の経営については、自主財源比率が目標値を大きく上回っており評価できる。今後も引き続き、更なる健全経営の実現に向けて会費収入の拡大や様々な収入源の発掘などについて働きかけていく。また、自主財源の確保以外にも、更に充実した事業運営を行えるよう民間助成金の積極的な活用に努めるよう団体に働きかけていく。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費収入の増加やその他の収入源の発掘など、市の補助金に頼らない自主財源の確保による経営基盤の強化 ・ボランティアグループの人員確保のための効果的なPRの実施 ・グリーントラスト運動に共感する企業を増やすための効果的な働きかけ、PRの実施 ・団体の活動や保全地に対する市民の認知度を高めるための情報発信方法の工夫と強化